

新学長就任記念イベント

Z世代の女性と 大学教育

参加無料
定員 **150** 名
事前申込制

-女子大学からジェンダーと大学教育を問い直す-



場所 キダーホール フェリス女学院大学 緑園キャンパス内
図書館／ラーニングcommonsもご見学いただけます。

対象 本学関係者・一般の方（どなたでもご参加いただけます）

予約 事前申込制（会場参加は先着150名）
右記QRコードより、お申し込みください▶

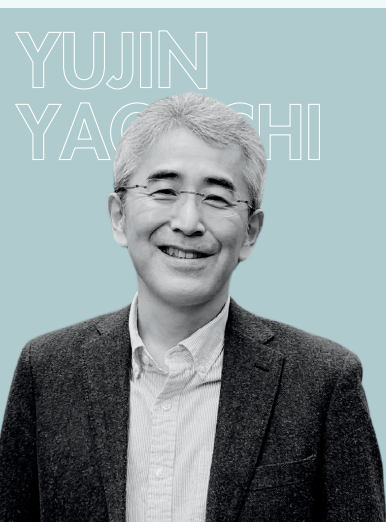


申込締切 6/20(木) 後日の配信を希望される方も
ご登録ください。

形式 対面実施、後日録画配信あり

2024. **6/22** **土** **14:00**
16:00
13:00 開場

登壇者



矢口祐人
東京大学副学長



高橋裕子
津田塾大学学長



小檜山ルイ
フェリス女学院大学学長



三牧聖子
同志社大学大学院 准教授



フェリス女学院大学

主催／問い合わせ先

ジェンダースタディーズセンター
✉ gender@ferris.ac.jp

センター概要はこちら▼



イベント概要

構造的なジェンダー問題が根強く残る日本社会において、女性の大学教育はどのように位置づけられるのでしょうか。本イベントでは4名のアメリカ研究者をお招きし、日米の高等教育の比較も踏まえながら、女性にとっての大学教育の未来を議論します。小檜山先生と高橋先生はそれぞれ日米における女性とジェンダーの歴史を研究する一方で、女子大学の中核で大学運営に携わっています。矢口先生は近著で、東大の男性中心的な構造がどのような歴史の中で生まれてきたのかを問い直しています。また、三牧先生は同じく近著で、

Z世代の若者たちの先鋭的なジェンダー観を議論されています。

今、女子大学はどのように変わっていくべきでしょうか？女子大学の新たな使命は何でしょうか。エリート大学の男性中心的な構造のなかで、女子学生にはどのような立場と未来が構想されているのでしょうか。Z世代のジェンダー観は、日本の大学教育をどのように変えていくのでしょうか。それぞれ異なる現場で大学とジェンダーの問題に向かいあってきた登壇者の方々との対話を通じて、本イベントではそのような問いを考えていきたいと思います。

登壇者プロフィール

小檜山 ルイ フェリス女学院大学学長

専門はアメリカ女性史・ジェンダー史、アメリカ・キリスト教史、日米関係史。国際基督教大学大学院博士後期課程修了（学術博士）。著書に『アメリカ女性宣教師——来日の背景とその影響』（東京大学出版会、1992年、女性史青山なお賞受賞）、『帝国の福音——ルーシィ・ピーボディとアメリカの海外伝道』（東京大学出版会、2019年、アメリカ学会中原伸之賞受賞）、『明治の「新しい女」——佐々城豊寿と娘・信子』（勁草書房、2023年）など。2024年4月よりフェリス女学院大学学長。



高橋裕子
津田塾大学学長

津田塾大学学長・教授。大学基準協会会長、日本学会議会員、文部科学省大学設置・学校法人審議会会長等務める。



矢口祐人
東京大学副学長

東京大学大学院総合文化研究科教授。東大の教育の国際化に長く関わっており、現在は同大学グローバル教育センター長・グローバル教育推進担当副学長を務める。



三牧聖子
同志社大学大学院 准教授

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科准教授。朝日新聞・Yahoo! Japanコメンテーター。近刊に『Z世代のアメリカ』『自壊する欧米』。